

第16号様式（第38条関係）※前年度、第15号様式で報告した事業者の使用様式

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 6年 6月 25日

山梨県知事 殿

提出者

住 所 神奈川県川崎市中原区中丸子174

氏 名 株式会社 平山ファインテクノ

代表取締役 平山 光裕

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 044-422-5571

山梨県生活環境の保全に関する条例第62条第2項の規定に基づき、令和5年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

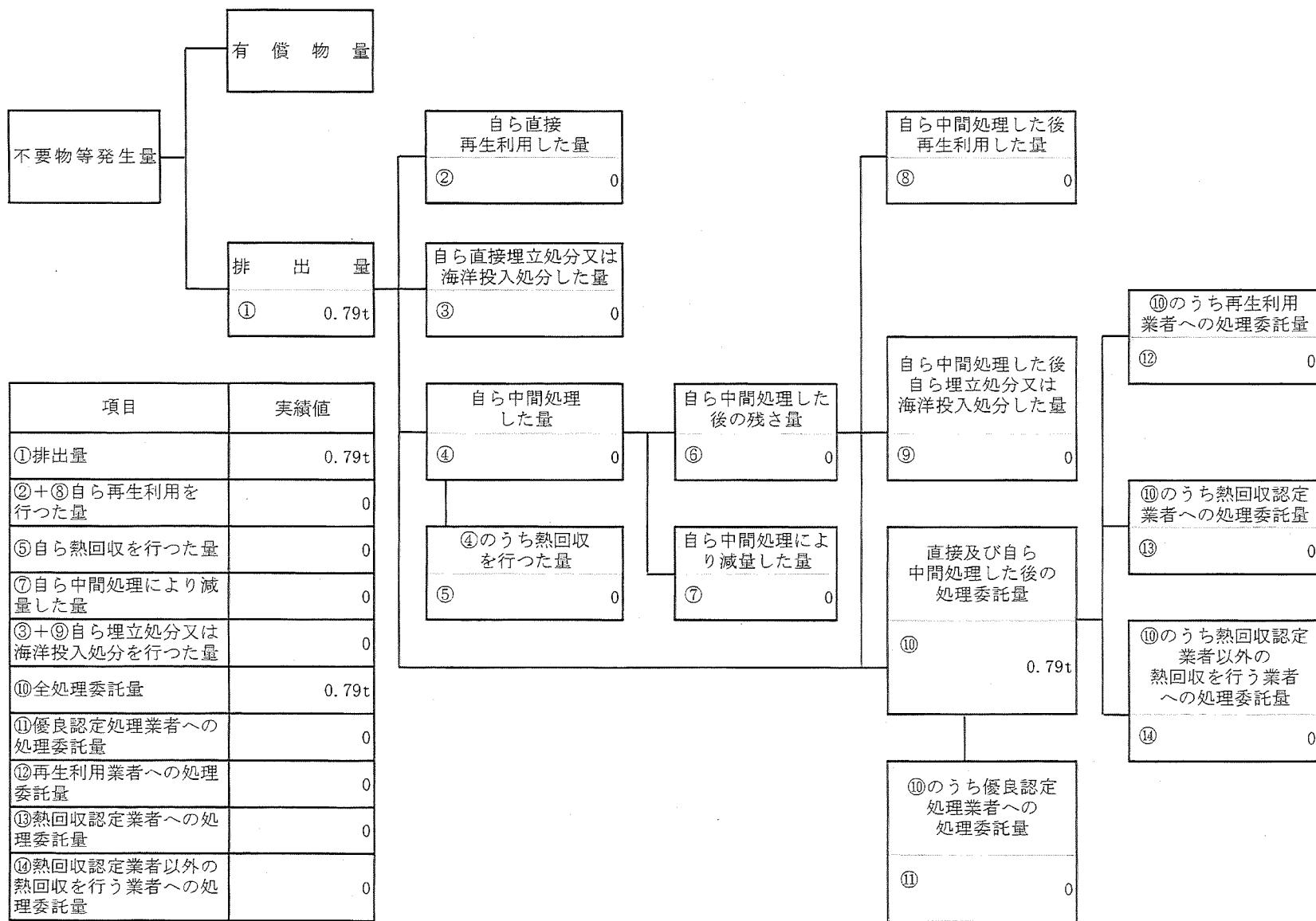
事業場の名称	株式会社 平山ファインテクノ 山梨工場
事業場の所在地	山梨県 山梨市 上石森 1500番地
事業の種類	電子部品・デバイス・電子回路製造業
産業廃棄物処理計画における 計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日の1年間

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	別紙-1のとおり	全処理委託量	別紙-1のとおり
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	別紙-1のとおり	優良認定処理業者への 処理委託量	別紙-1のとおり
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	別紙-1のとおり	再生利用業者への 処理委託量	別紙-1のとおり
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	別紙-1のとおり	認定熱回収業者への 処理委託量	別紙-1のとおり
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	別紙-1のとおり	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	別紙-1のとおり
※事務処理欄			

計画の実施状況

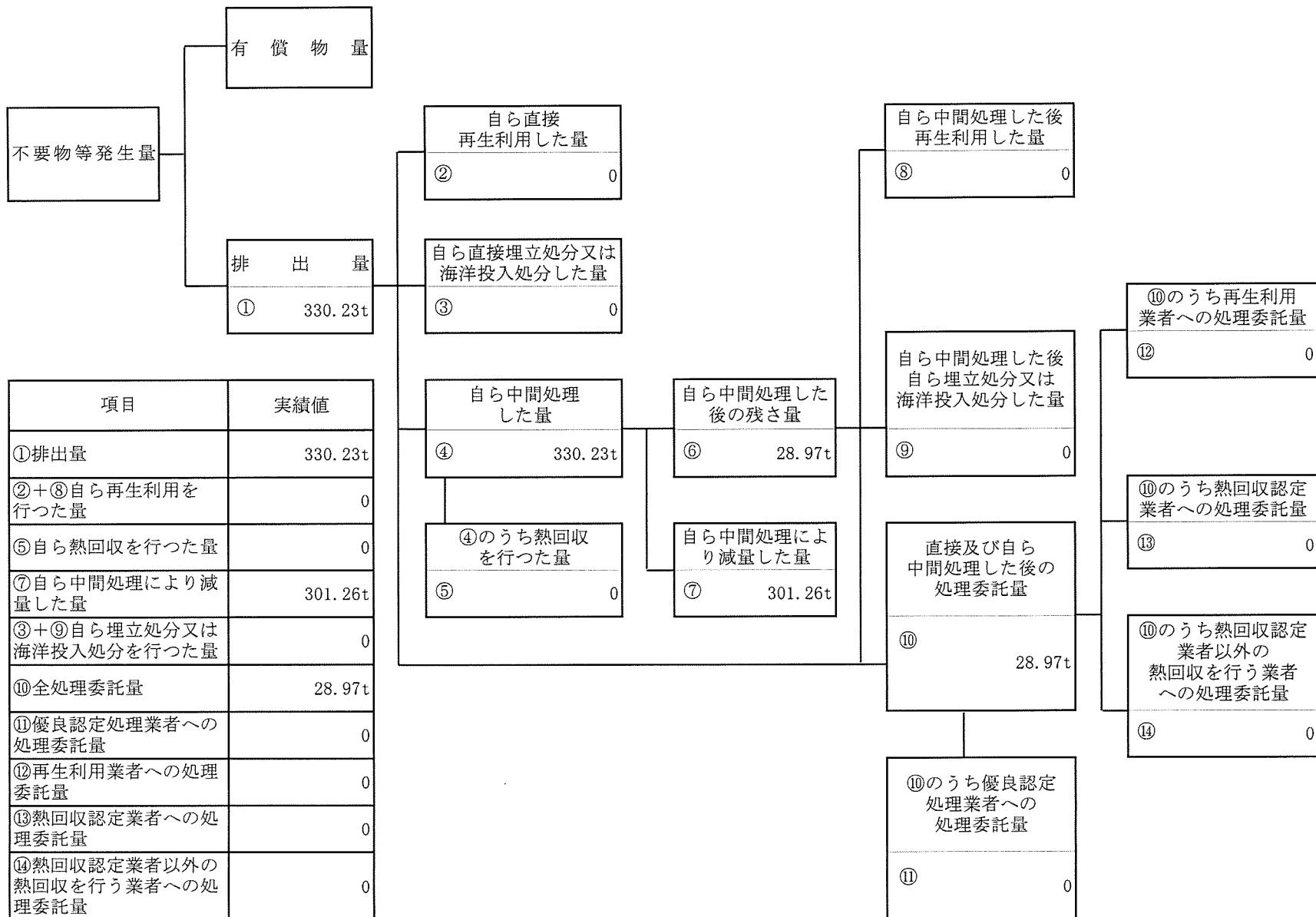
(産業廃棄物の種類：廃酸「定着廃液」)



(第二面)

計画の実施状況

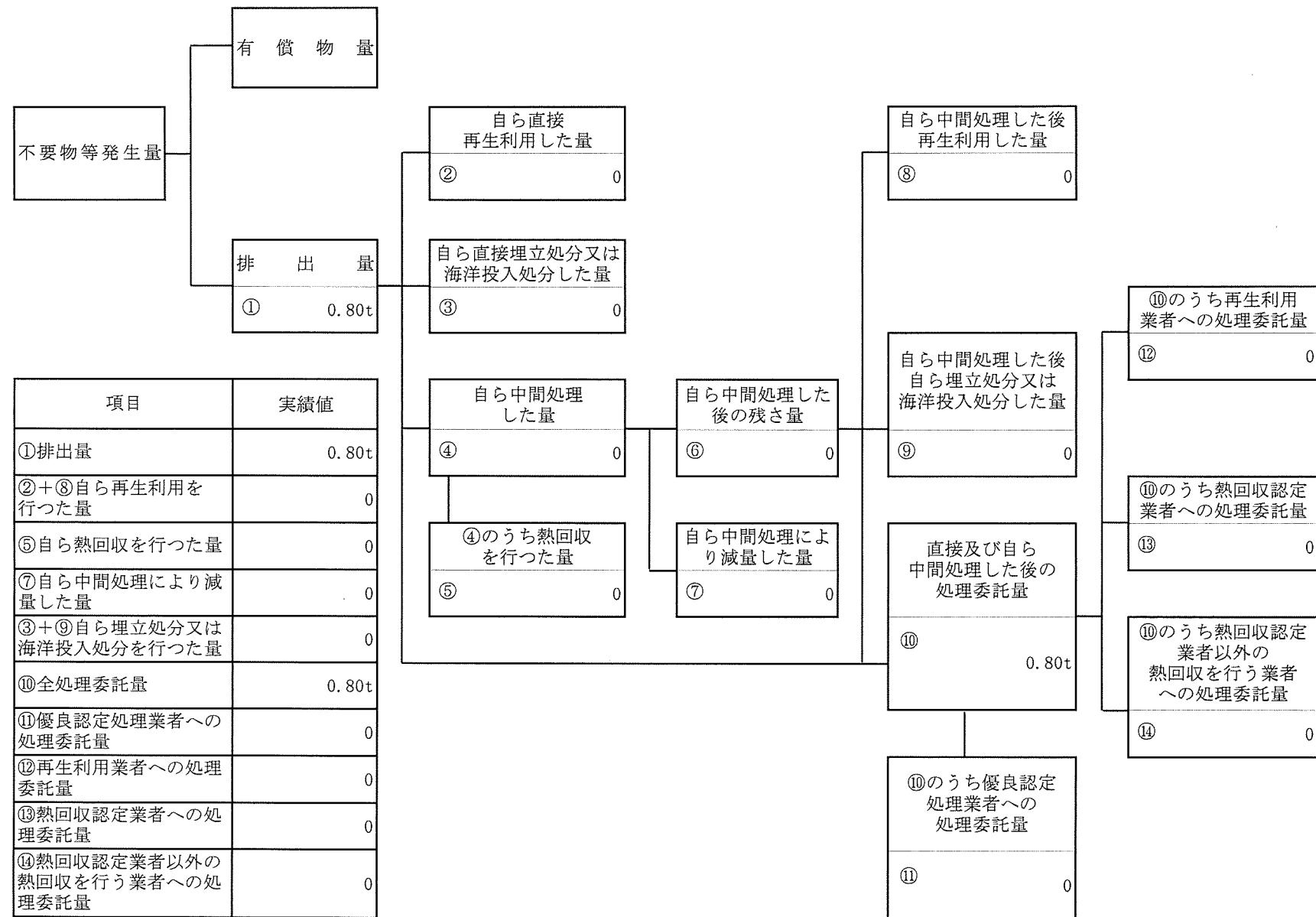
(産業廃棄物の種類：無機性汚泥)



(第2面)

計画の実施状況

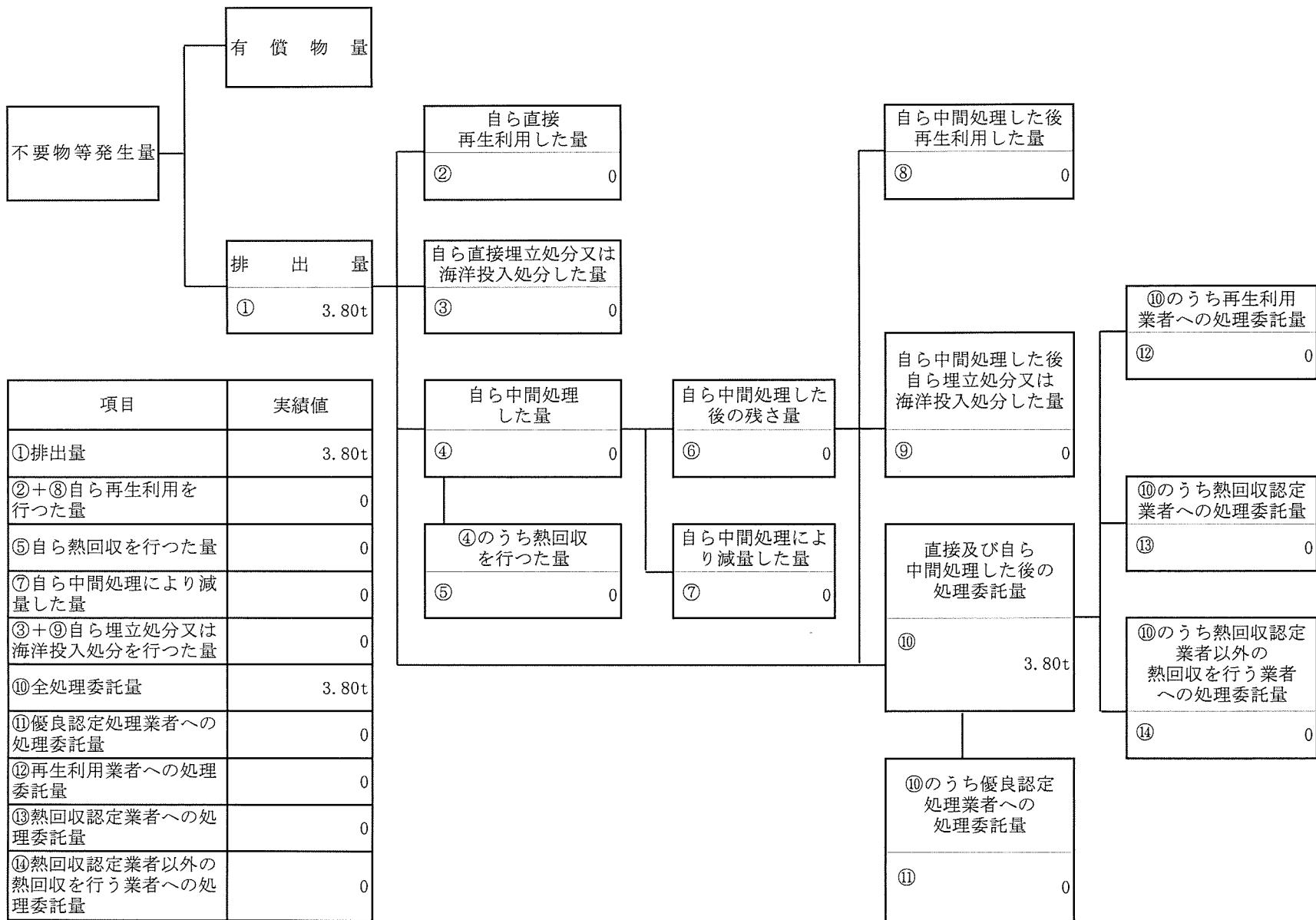
(産業廃棄物の種類：廃プラスチック「剥離カス」)



(第2面)

計画の実施状況

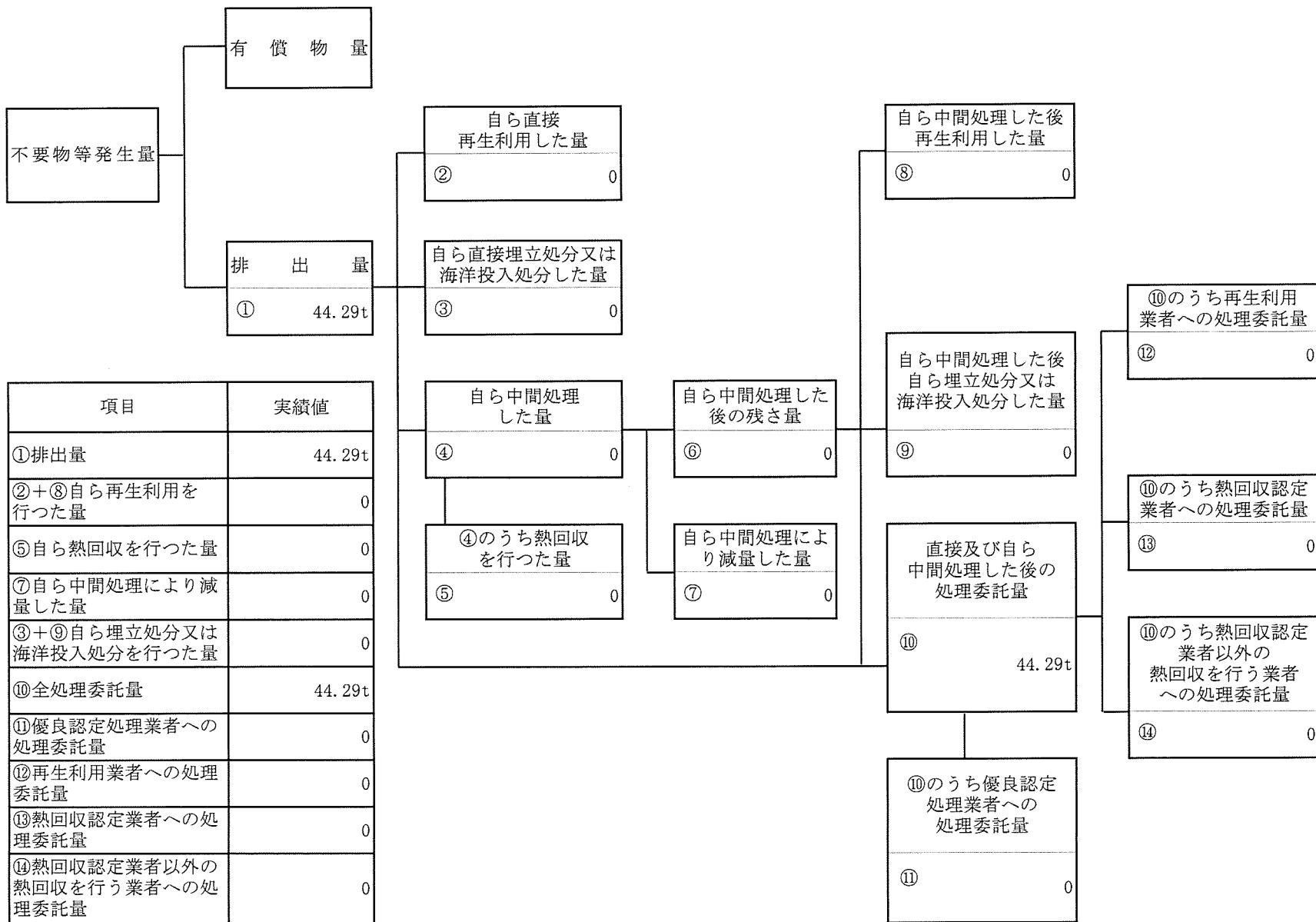
(産業廃棄物の種類：廃プラスチック「インクカス」)



(第2面)

計画の実施状況

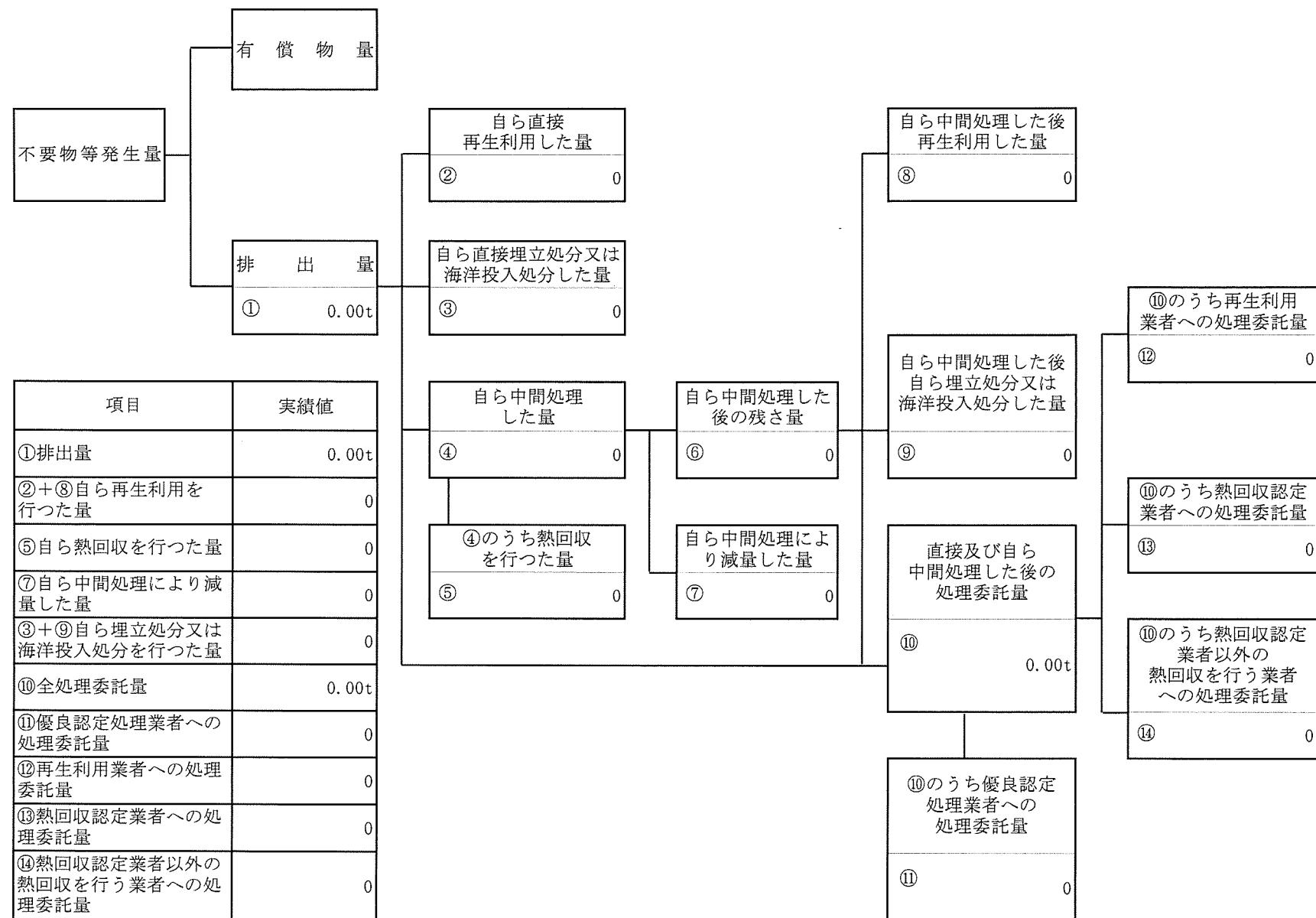
(産業廃棄物の種類：廃プラスチック「アームロール」)



(第2面)

計画の実施状況

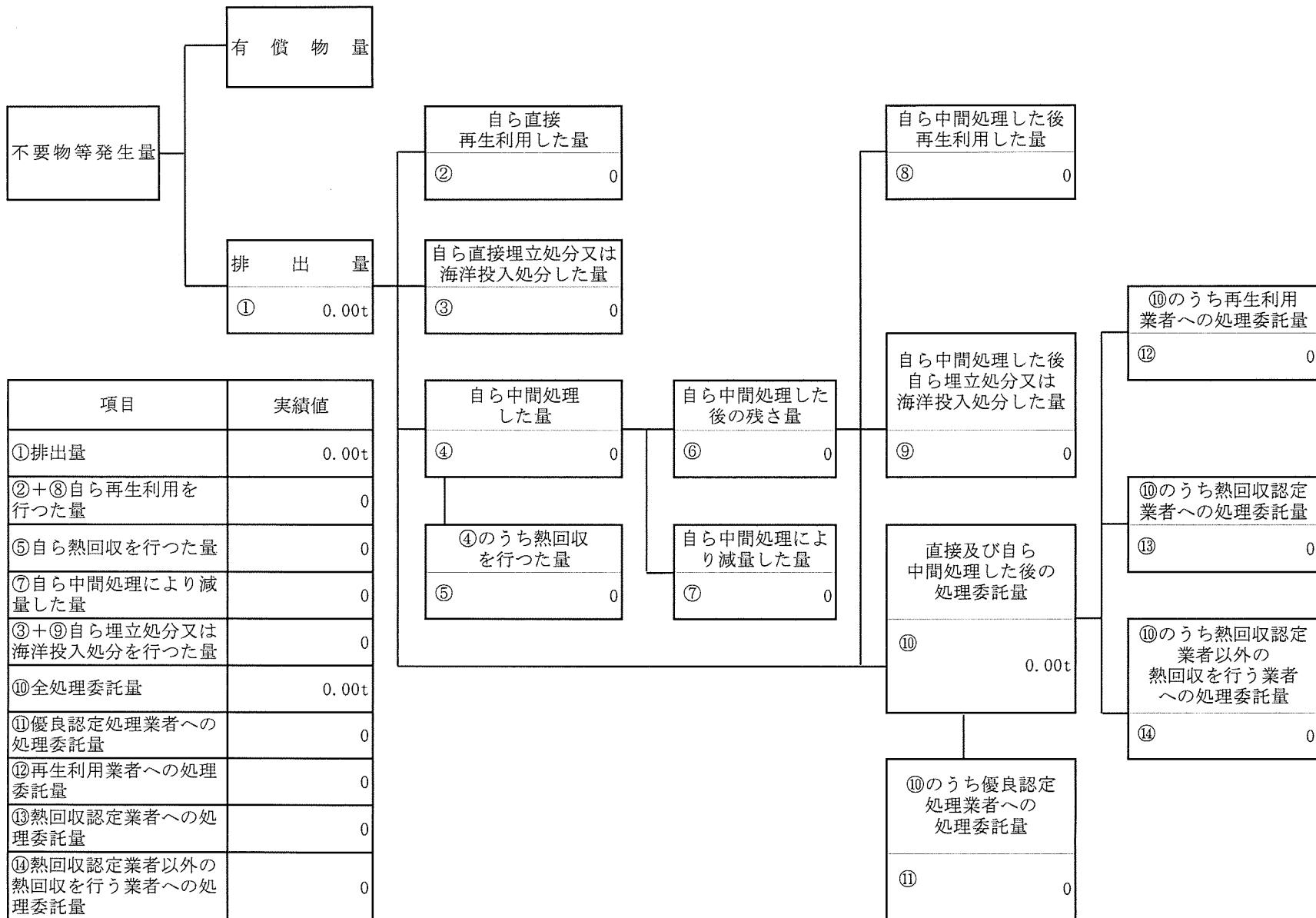
(産業廃棄物の種類：廃油「剥離液」)



(第2面)

計画の実施状況

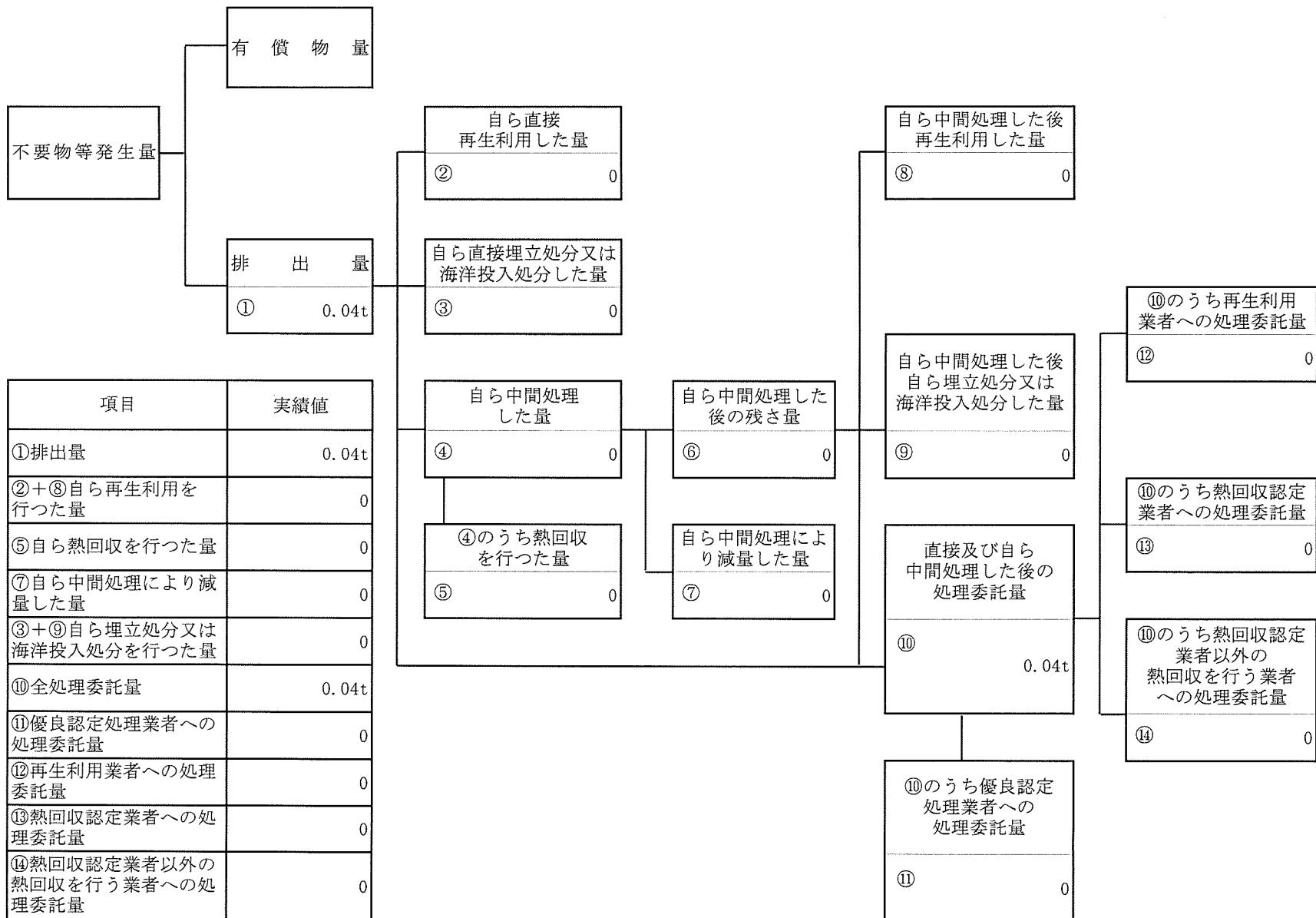
(産業廃棄物の種類：汚泥「スラリー」)



(第2面)

計画の実施状況

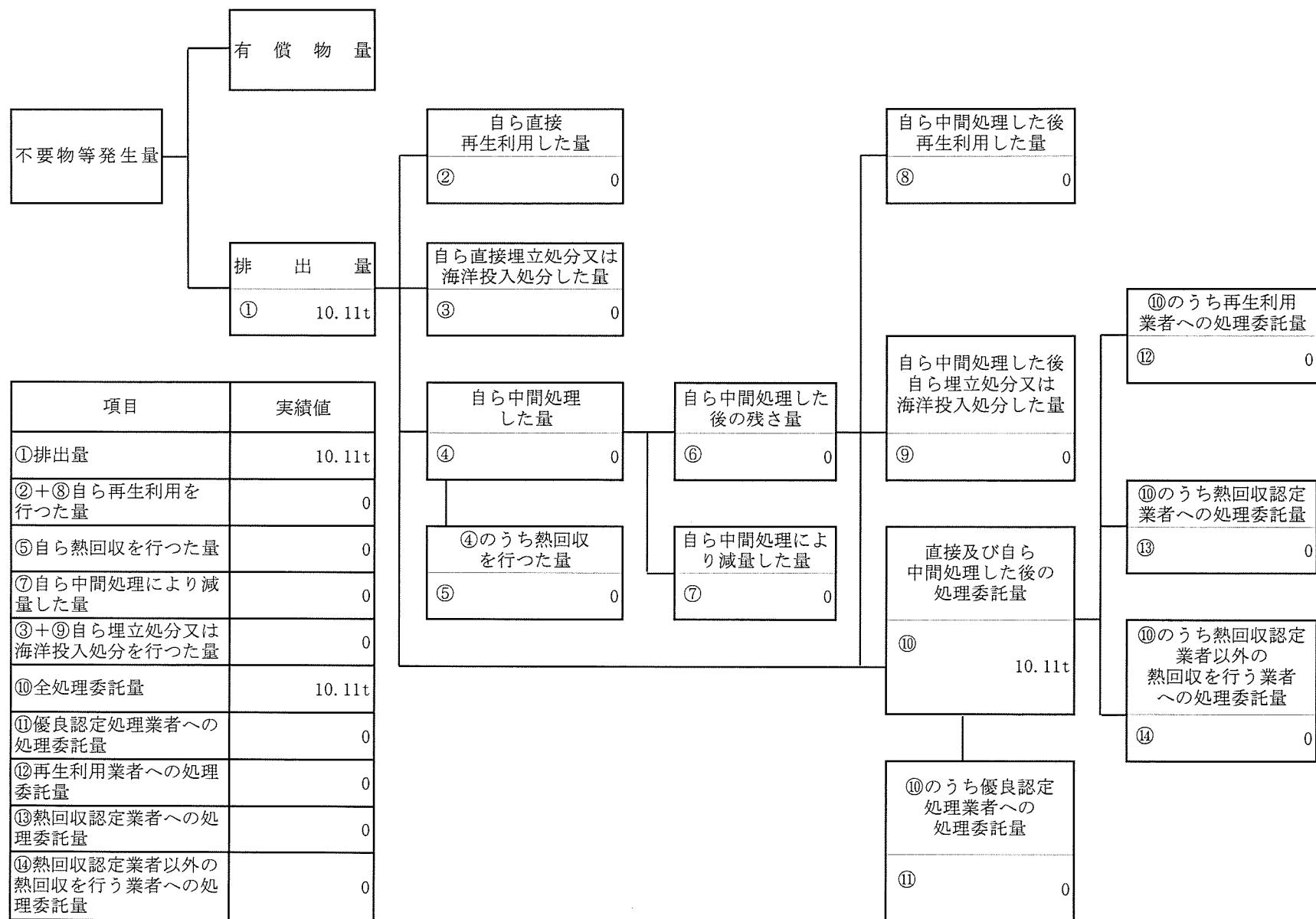
(産業廃棄物の種類：廃プラスチック「インク空缶」)



(第2面)

計画の実施状況

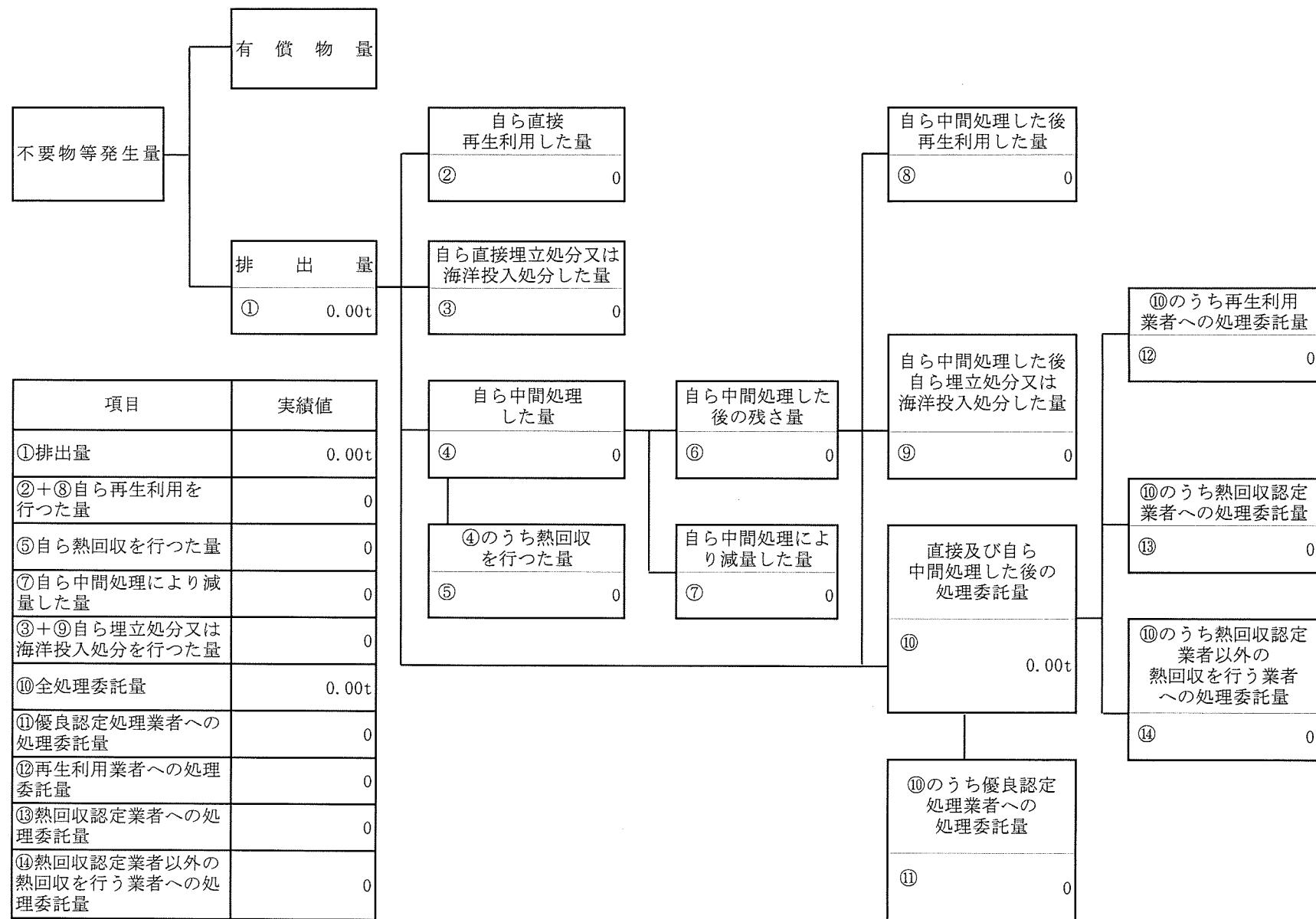
(産業廃棄物の種類：廃プラスチック類「切粉」)



(第2面)

計画の実施状況

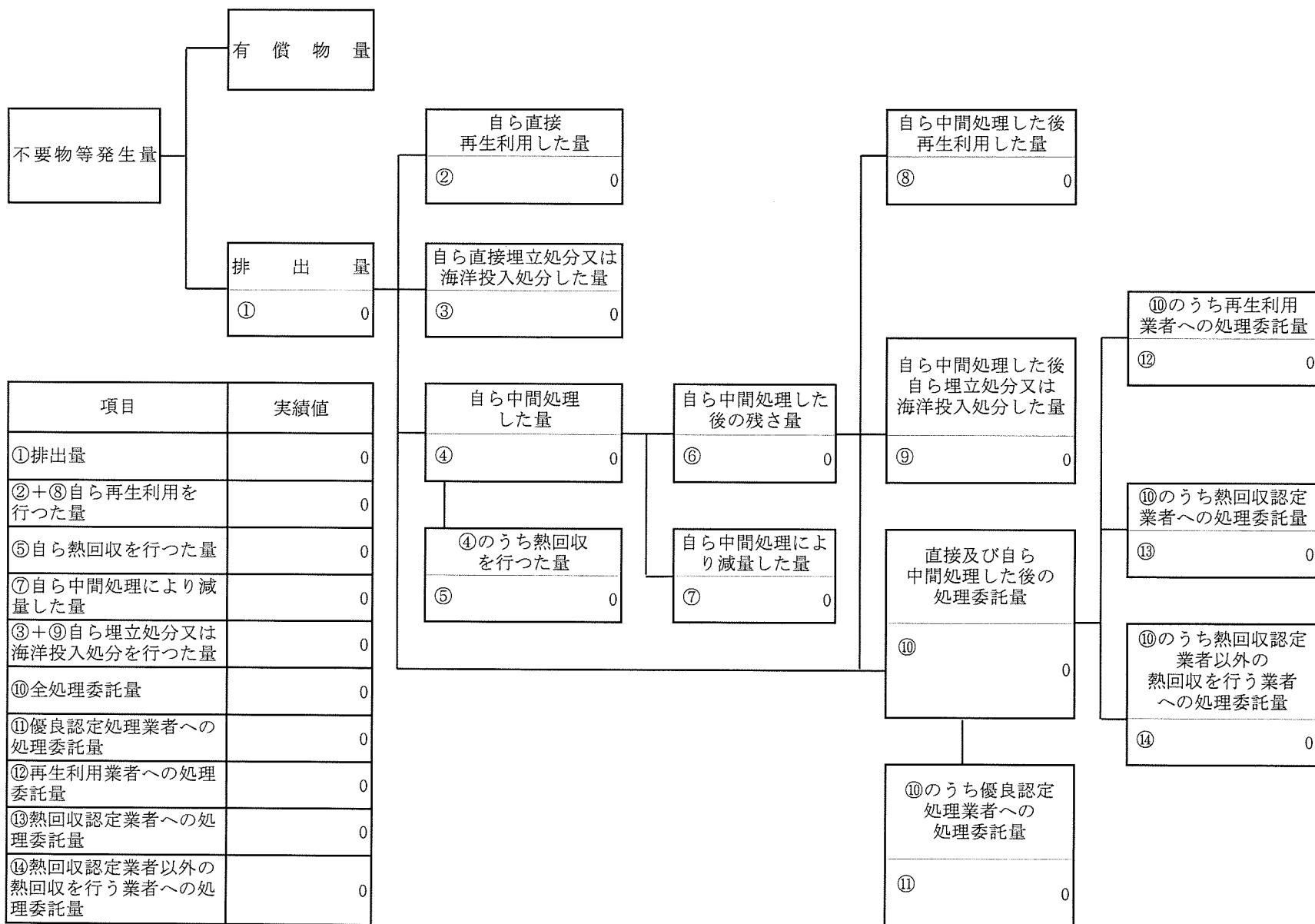
(産業廃棄物の種類：廃油「フラックス廃液」)



(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：廃油 「 I P A 廃液」)



(第2面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理した産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理における目標値(令和 5年度)

別紙一1

1. 特別管理産業廃棄物以外の産業廃棄物 (単位:kg)

種類	廃酸 (定着廃液)	無機性汚泥	廃プラスチック (切粉)	廃プラスチック (剥離カス)	廃プラスチック (インクカス)	廃プラスチック (アームロール)	廃油 (剥離液)	汚泥 (スラリー)	廃プラスチック (インク空缶)	廃油 (IPA)	廃油 (フランクス)	合計
排出量	1,131	519,950	16,100	1,714	4,952	55,457	34	12,943	86	0	274	612,643
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0	475,846	0	0	0	0	0	0	0	0	0	475,846
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
優良認定処理業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
再生利用業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
認定熱回収業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
全処理委託量	1,131	44,104	16,100	1,714	4,952	55,457	34	12,943	86	0	274	136,796